

すっかり暖かくなり、野山に新芽が芽吹き桜前線も過ぎて、住宅街の庭先にも花々が植えられるようになり北海道の春の一番良い季節がやってきましたね。陽気に誘われてお散歩に出られる方も多いと思いますが、私達、やるしょ課では、北海道近代美術館に出かけてきました。  
(参加人数10名)もう行かれた方もいらっしやるとは思いますが、「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」です。  
(4/22~6/26(日))



今回の展示の一番の話題はこの有名な『窓辺で手紙を読む女』左の復元前は白い壁が描かれているが、実は右のように画中画でキューピットが描かれており、修復によって復元されたことです。

復元までの経緯などをお知らせします。（ネット記事より）

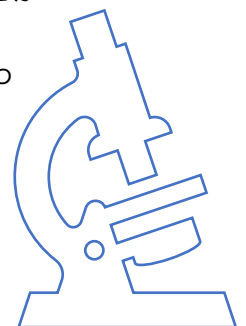
- ①1657～59年にヨハネス・フェルメールが描いた。20代中頃に描いたとされます。
- ②1742年ザクセン選帝侯が購入。（実際は贈られたものと言われる）この時はレンブラントの作品とされていたようです。
- ③1860年フェルメールの作品と正式に鑑定されます。
- ④1979年X線調査により壁面にキューピットが描かれていた事が

判明！しかし、この時点ではフェルメール自身によって塗りぶされたとされました。

⑤2017年この画中画のキューピットを消したのはフェルメールではなかったことが判明。

画中画のキューピットの絵の具と上塗りの絵の具には、時代の違いがあることがわかりました。

⑥2018年修復作業開始、2021年8月終了。



ドレスデン国立古典絵画館所蔵のフェルメールのこの傑作が修復後、所蔵館以外で展示されるのは、東京が初公開、その後札幌に来ました。修復の様子など、動画やインタビューも紹介されていました。

その他同館が誇る17世紀オランダを代表する名品、70点余りを展示していますが、オランダの当時の生活を垣間見れる気がします。1650年頃の日本はちょうど徳川家綱4代将軍の時代ですが、日本のその時代と比較すると興味深いです。どうぞ足を運んでみて下さい。



私は札幌には来てません^^;



鑑賞の後みんなでランチ、久しぶりの外出という方もいらっしゃいました！誰かが作ってくれる食事は美味しいですね🍴

